

平成 30 年 9 月 6 日の北海道胆振東部地震が発生以来、いたるところで被害が発生しました。しかし、地震発生したその日から、町民の方々は前を向いて歩き出す。そして、今、安平町は 1 日も早い復興を目指し進んでいます。そんなまちの様子を一般社団法人安平町復興ボランティアセンターと協力し、センター独自の取り組みやまちの変化、町民の声などをコラム「未来へつなぐ」として連載していきます。

安平町復興ボランティアセンターの歩み

昨年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震をきっかけに 11 月 6 日に安平町復興ボランティアセンター（以下、復興ボラセン）を立ち上げ、12 月 7 日に一般社団法人となりました。

町を支えている役場、町に住んでいる住民、災害ボランティアとして活動いただいた約 4,000 人ものボランティアを繋いでいく団体です。発足してから約半年、これまで復興ボランティアセンターではいろいろなイベントを企画、運営、お手伝いを行ってきました。

復興ボラセンでは今後も「1 人も置いていかない。」のテーマのもと、町民一人ひとりに寄り添いながら、安平町の復興に向けて全力を尽くしていきます。



復興ボラセンメンバー集合写真
(左から、台・林・井内・鳥實・溝口)



安平町復興ボランティアセンターが思う "復興" とは、一体何なのか？

今回の地震からの復興というものは、町民一人ひとり異なり、様々な答えがあると思います。

私たち復興ボラセンとしましても、多様な復興に対応できるよう、「町民皆さんにとっての復興とは何か？」という問いを自問自答しながら、安平町とともに歩んでいけたらと思います。

町民みんなで支えあい、町民みんなで笑いあい、町民みんなで“楽しい”安平町にしていきたいと思います！

復興ボラセン理事長とセンター長の想い



西村理事長

仮設住宅に入っている方、地震で被害にあわれまだ不安を持ったまま生活している方々の「心のケア」を今後しっかり行っていきたい。

また、震災時ずっと町のために動き回っていた役場の方、地域の方、ボランティアの方々に本当にお世話になりました。これからも感謝の気持ちを伝え続けていきます。胆振東部三町、すべてが笑顔になって欲しい。

復興とは何でしょう。壊れた道路や家が直ることが復興でしょうか。イベントを企画し人が集まるのが復興でしょうか。壊れたものは直せば元通りになります。

しかし、地震の不安とあの時の記憶はなくなるものではありません。“安”心と“平”穩。心穏やかに笑顔があふれるまち。幼児から高齢の方まで町民一人ひとりが心を興せるよう、できることは全部やっと思っています。



井内センター長

(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL : 070-3139-0374

MAIL : abira.fukkouborasen@gmail.com



復興ボランティア
募集！



今、安平を変える時。

安平町復興ボランティアセンターとは？

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ